

五、激勵演説

全農中央委員 田原 春 次

茲二三年以來吾々のメーデーに對して反對排撃を企てる傾向がある非常時の名の下に國家主義、愛國團體の美名に隠れ吾々勞働農民運動に非常國民的汚名を着せんとする運動がある。吾々は正義の爲資本家並に特權階級に向つて堂々と闘つて来たのだ、この運動を弾壓せんとするが如きこそ國賊的運動なりと斷言する。本年時向の都合上北九州勞働組合と合流が出来なかつた、決して合流を拒まれたのではない。尙今日全國の同胞は意氣あるメーデーを行つて居る事を傳へて置きたい

六、隊の編成

參加全員を四隊に分ち一隊五十名宛を編成し各隊毎に長旗スローガン一統を押し立て、當初豫定人員六〇〇名を七隊に

編成する豫定なりしも四隊になつた爲一隊一統の制限により左の長旗スローガンは撤去せしめらる。

- 農民運動不當彈壓干涉の反對
- 耕作權確立、完全小作法の即時制定
- 米穀検査の即時撤廢
- 七、スローガン
- 悪地主土地會社の打倒
- 立入禁止立毛差押反對
- 農民は全農の旗の下に
- 土地取上反對

八、行 動

田原全農中央委員の挨拶終るや午前九時五十分全教第一支部を先頭とし行動を初め、豫定コースたる歩兵第十四聯隊